

つむぎ・つなぎ、進化・発展する南陽市の教育

～高い志を持って、自立的に生きる人材の育成を目指して～



これは、今後 10 年間の南陽市の教育の在り方・方向性を示した計画です。どうぞ手に取ってご覧いただき、皆様の『これからの学び』を見つめてみてください。

令和の時代に入り、社会を取り巻く環境の変化は、加速度を増しています。新型コロナウイルス感染症や頻発する自然災害も含め、「予測困難な時代」「先行き不透明な時代」への対応は、大きな課題です。

しかし、制限のある中、厳しい状況を乗り越えようとする創意工夫した取組み、また、誰一人取り残すことのない、多様性と包摂性のある社会の実現に向けた持続可能な開発目標 (SDGs) への取組みが、今、南陽市でも進められています。

南陽市に住む人々の息づかいや営み、本市の将来を担う子供たちの学びの連続性、地域のよさや課題等を踏まえた上で、これまで歩んできた道のごとく、先見性を持ち、人々の叡智や技術・技能、そして、徳性を結集し、市民総ぐるみで立ち向かう南陽市の教育は、新たな時代における地域の人材育成や地域創生を具現化する有効な手法であると言えます。

そこで、これまでの南陽市の教育を「つむぎ・つなぎ、そして、進化・発展」させ、「あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができる社会の実現」に向け、高い志を持ち、生涯にわたって学び続け、自立的に生きる人を育てていきます。

4つの教育目標を達成するため、6つの基本方針のもとに

施策を体系化し、各事業に取り組みます。

【学校教育課・管理課・社会教育課・総務課
・みらい戦略課・福祉課（発達支援室）
・すこやか子育て課】

※市教委事務局担当課 □管理課 ○学教課 ◇社教課

【学校教育課・管理課・社会教育課】

- 確かな学力の育成
- 自力解決の力の育成
- 変化を創り出す力の育成
- 幼保小中一貫教育の推進
- 社会参画活動の推進
- 教育相談体制の充実
- 特別支援教育の充実
- 信頼される学校づくりの推進
(学校運営協議会)

- 豊かな情操の醸成
- ◇ 市立図書館の充実
- ◇ 芸術文化の促進と充実
- ◇ 地域文化の継承と振興の推進
- ◇ 歴史と文化財の保護と活用
の推進

一人一人の夢を確かにし、
これからの国際社会を
生きぬく力の育成

基本方針1
質の高い学びをつくる

基本方針6
ふるさとの文化を伝える

地域総合型教育

社会学融合

創造性豊かな
かおり高い
教育文化の
まちづくり

たくましい心と
身体を鍛え
愛郷心を育む
環境づくり

基本方針4
スポーツの振興を図る

基本方針5
文化芸術を育てる

基本方針2
生涯学習を充実させる

基本方針3
地域づくりを推進する

確かな未来と夢を育む
生涯学習社会の実現

- ◇ 社会教育の推進
- ◇ 多様な社会づくりの推進
- ◇ 公民館等地区集会施設の充実

- 健やかな心と体の育成
- 危機管理体制の強化
- 学校の適正規模・適正配置
- 学校施設整備の推進と
施設保全の適切な管理
- 学校 ICT 環境の整備推進
- 学校給食の充実と食育の推進
- ◇ 生涯健康スポーツの推進
- ◇ スポーツ交流の促進
- ◇ 競技スポーツ振興の推進
- ◇ スポーツ環境・施設の整備充実

【学校教育課・管理課・社会教育課
・農林課・市民課・建設課・総合防災課】

【社会教育課・学校教育課
・福祉課・すこやか子育て課】

「南陽市の教育」の中核をなす『地域総合型教育』とは…。

「地域総合型教育」とは、市民一人一人が、学校・地域の枠を超え、現在及び将来につながるまちづくり、地域に根ざした人を育てるために、市民総ぐるみで取り組んでいく教育のことです。

本市の子供たちは、多くの市民の方々との学びの中で、地域、社会の一員としての自覚を高めながら、成長しています。同時に、子供たちの生き生きとした学びが地域に組み込まれることで、歯車が動き出し、人々のつながりが増え、様々な世代の学びが充実し、地域活性化、文化の継承等、まちづくりの起点となります。

ココがポイント！

◎ 不易なものとしての 「豊かな情操の醸成」

「予測困難な時代」「先行き不透明な時代」と言われる中、社会構造も大きく変容し、人との関わりや自然と触れ合う機会の減少、価値観の多様化等も話題となっています。また、人工知能やビックデータ等の高度化している先端技術が、産業や社会生活に取り入れられるなど、身近なところでデジタル化を実感することが増えています。

しかしながら、いかに時代が変化しても、便利な世の中になっていこうとも、人が正義と真理を求め自己実現を図ろうとする営みや、うつくしいものをうつくしいと感じる情感豊かな心の在り様等は、人としての生き方あり方の根幹をなすものと考えます。

したがって、学校教育はもとより社会教育、教育活動全般において、より一層、「本物に触れる機会」を大切に、体験活動の充実を図ります。特に、多感な子供たちが、様々な関わりや触れ合いの中で、気づき、心を耕し、認め合うことで、自らの志を大切にして学び続けられるよう、必要な環境を整えていきます。



ココがポイント！

◎ 地域総合型教育の柱のひとつ

「幼保小中一貫教育」のめざすところ…

進路選択の大きなポイントとなる15歳。そして、成人として社会に羽ばたく18歳。

南陽市では、幼稚園・保育園・児童館、小学校、中学校…。それぞれの教育機関が、子供たちの育ちや学びを輪切りにしない取組みを進めています。つまり、南陽市内の幼児施設、小学校、中学校の全ての教職員は、園児・児童・生徒が、その年齢になった時の姿を思い描きながら、連続している一人一人の育ちや学びをサポートしています。

また、市内小中学生の多くは、校種、学年を超えて、異年齢の子供たちとの活動を経験しています。多様な学び・活動がたくさんできるのも「幼保小中一貫教育」のよさと捉えます。

これからの時代を生きぬく子供たちには、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働し、様々な社会の変化を乗り越える力、新たな価値を創出する力、そして、たくましく生きぬく根源となる確かな学力が必要です。

これらの力を身につけることは、「幼児施設だけ」「小学校だけ」「中学校だけ」で成し得ることではありません。地域や家庭、そして学校が、それぞれの役割を担い、連携・連動しながら、地域に根ざした人材を育てることを通して、持続可能な社会の実現に取り組みます。



ココがポイント！

◎ 市民一人一人の主体的な学びに向けた

「生涯学習の充実」

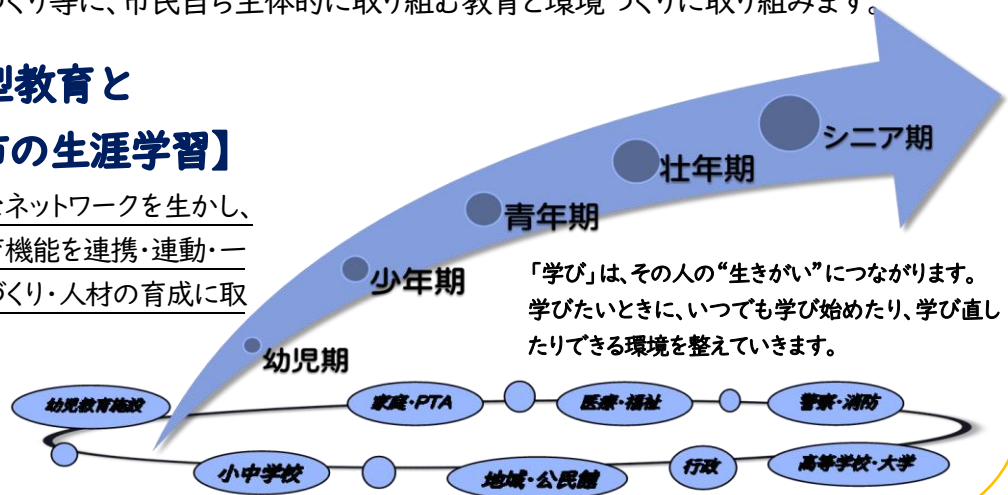
個人の資質や能力を高め、能動的に地域づくりに参画する市民を増やす人づくり教育と地域課題の解決や地域活性化に向け、『つながりつどう人々の絆』を大切にした地域づくり教育を推進することは、持続可能な地域社会の実現に不可欠です。

一方、少子高齢化・人口減少に伴う地域コミュニティ機能の弱体化は、大きな課題になっております。すべての人々が、生涯にわたり質の高い学習を受ける機会の提供とそこで得た情報や知識を活用した地域づくり等に、市民自ら主体的に取り組む教育と環境づくりに取り組みます。

【地域総合型教育と

南陽市の生涯学習】

地域のゆるやかなネットワークを生かし、それぞれが持つ教育機能を連携・連動・一体化しながら、まちづくり・人材の育成に取り組めます。



【学校の適正規模・適正配置】

将来を見通し、質の高い学びを目指した教育環境の充実に向け、学校規模・配置の適性化が求められています。教育環境の変化や児童生徒数の推移を踏まえ、中長期的な展望に立ち、市内小中学校の適正規模・適正配置、地域の学校の在り方について、研究・検討を進めていきます。

【持続可能な社会の創り手の育成】

南陽市総合計画では、将来都市像及び基本目標の実現に向けて、SDGsと関連する基本施策を推進することとしています。本教育振興計画においても、基本目標及び教育目標の実現に向けて、SDGsと関連する基本施策を同じ目的意識や横断的な視点をもって推進することにより、SDGsの実現に貢献していきます。



学習指導要領においても、前文及び総則に「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられました。つまり、持続可能な社会の創り手を育成する教育(ESD)が、学習指導要領全体において基盤となる理念として組み込まれています。

今後さらに、あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができる社会を実現するため、福祉や子育て支援等、関係機関との連携を図るなど、大局的に捉えて主要施策に反映させ、各種事業へ展開していきます。



詳細版は、『第六次南陽市教育振興計画』で 🔍 検索

または、南陽市HPをご覧ください。

【発行】令和5年3月 南陽市教育委員会



